

社会福祉法人すぎな福祉会 2022年度事業報告

社会福祉法人すぎな福祉会	就労継続支援B型時事業
<p>□セキュリティ対策の取組(2022年度) 2022年度以降、「サイバー攻撃による個人情報漏洩時の本人通知が、義務化」 「漏洩時等が発生し、個人の権利利益を害するおそれがある場合」 ・違反時は最高1億円の罰金 ・悪質な場合は社名を公表</p> <p>■改正前 ホームページなどで漏洩の事実のみ公開など本人への通知は「努力義務」</p> <p>■改正後 ・個人の権利利益の侵害のおそれ大きい事態については、個人情報保護委員会への報告を「義務化」 ・本人の通知も「義務化」</p>	<p>■2022年度事業実施報告</p>
<p>ゲートウェイセキュリティパック導入 予算 701,140円(買取り) ドキュメントセキュリティパック 月額1,980円</p>	<p>□受託作業からの脱皮【施設外就労取組】 自助努力でお金を稼げる組織づくりを《福祉からの脱却》 (1)プロとしての日常清掃業務の取組 ・トイレ除菌・清掃事業に取組む ＜具体的に＞ ①令和4年4月1日石川県こころの健康センター トイレ除菌清掃作業契約 ②令和4年11月1日アイビス武蔵 アパート除菌清掃作業契約 ③令和5年3月1日リバティー水夢倶楽部 浴室除菌清掃作業契約 ＜作業スケジュール＞ 火曜日・金曜日 完全な施設外就労作業(午前・午後) 月曜日・水曜日・木曜日 午前のみ作業実施</p>
<p>□デジタル化の推進展開(未実施) 令和5年度検討事項とする。</p> <p>□リスクマネジメント 防犯カメラ設置(未実施)</p>	<p>□施設外作業専用車1台増車 予算1,500,000円計上もしくはリース契約 リース料金 約25,610円</p> <p>□人件費 パート職員増員(送迎、施設外就労専任) 時間給 950円 勤務時間8:20～10:40 14:10～16:30(基本勤務ベース)</p>
<p>1階作業室・事務室(B型／相談支援) 2階厨房・食堂 5箇所設置(360° 広角) しめ縄作業室 1箇所設置 見込み予算 150万円程度 今後、導入時期検討要す</p>	<p>□手作り作業商品(SDGs関係)製作に取組む R3.11開始カエルデザイン作業の安定的定着を さらに、令和4年度ペットボトル蓋を 鳴和の里オリジナルプラアクセサリー製作開始</p>
<p>□人材確保 世代交代を(事業継続に) 管理者・サービス管理責任者・経理担当の人材確保 若手の人材確保が、課題(30才～45才) 今後の大きな課題 (未実施 R6年度検討必要)</p> <p>サービス管理責任者 令和7年度3月定年 経理担当者 令和7年度5月定年</p>	<p>利用者さん参加 5名目標⇒ 5名達成 プラスチック洗浄作業は、全員参加する。 鳴和の里独自オリジナルアップサイクル ・みつろう製作 ・エコタワシ(麻)製作 ・エコバック(麻)製作 オリジナル各商品話題性あり、評価は好評</p>

就労継続支援B型事業	指定特定相談支援事業所
<p>□利用契約者数・送迎利用者数拡大 R3年度3月末29名→令和4年度32名目標(実績33名) R4年度一日当り通所人数19.5名目標値⇒17.5名 令和4年度送迎者11名目標⇒12.7名(一日利用者数)</p> <p>□社会福祉法人すぎな福社会19周年記念 イベント開催(未実施) 令和5年度に延期 ※2003年4月1日法人設立</p>	<p>□22年度～26年度5カ年中期事業計画 相談支援員3名体制への組織づくり目標とする 利用者135名 ⇨ 3分割にし支援活動を 「支援員の利用者持ち分45名体制」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般就労／入院等により、利用契約の解約発生頻度も多く、契約者数が安定的でない。 ・相談員のメンタルヘルス維持していくためにも余裕を持った支援活動環境作りが必要 </div> <p>事務所独立でなく、⇩当分併設とする。 5カ年中期事業計画一時保留中断とする。 実施時期、今後の検討とする。</p> <p><背景> B型事業所作業スペース手狭の解決策としても合理的な方法と考えた。</p> <p>※2022年度目標値に対する評価 利用契約者数目標145名⇒135名(R4年度見込み) 訓練給付費7,800千円目標⇒6,683千円(R4年度見込み) 1カ月活動量41名目標⇒36名(R4年度見込み)</p>

